

【速報】 益田川における石倉カゴを用いた生物資源量モニタリング調査
第二回引き揚げ調査報告書

益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織 齋藤遼

1. 概要

調査日時：平成 28 年 10 月 20 日 13:00－17:00

調査場所：益田川津村橋上流

調査実施者：佐々木隆志、齋藤遼、吉中力、豊田武雄、吉田篤志、下瀬敏樹、大賀俊彦（以上アンダンテ 21）

調査補助者：吉田小学校 5 年生約 90 名、益田市林業水産課職員

採取個体数：魚類、甲殻類等水生生物 約 200 個体（計測後放流）

調査内容：7 月 15 日に設置した石倉カゴを引き揚げ、内容生物を調べた。ニホンウナギについては計測後 PIT タグを体内に埋め込み放流した。

2. 調査結果

2.1. 内容生物の種類と個体数

内容生物の種類ごとの個体数をカウントした後放流した。結果を表 1 に示す。

表 1 第一回石倉カゴ引揚げ結果

種類名	ウナギ	ハゼ類	他魚類	モクズガニ	他カニ類	テナガエビ	他エビ類	多毛類	昆虫類	貝類	その他
個体数	1	7	8	20	0	6	多数	0	6	36	0
内訳等		ドンコ1 ヌマチチブ6	ギギ8				ヤマトヌマエビなど		カワゲラ類	カワニナ26 チリメンカワニナ9 イシマキガイ1	

2.2. ウナギの標識放流

ウナギの全長、胴回り寸法、重量を測定した後、PIT タグを肛門上付近に埋め込んで放流した。ウナギの個体値と標識番号を表 2 に示す。

表 2 ウナギの個体値と標識番号

No.	Tag No.	全長 (mm)	胴回り (mm)	重量 (g)
3	08086007	629	118	440

※前回調査時に捕獲した個体の再捕獲はなし

3. 総評

8月調査時にタグ付けを行ったニホンウナギ2個体については再捕獲できず、新たに入った一頭をタグ放流した。また、前回調査時と比べ生物の種類別の個体数に異なる傾向が見られた。特にモクズガニにおいては、大型の個体が多く入っており、前回調査時よりも下流に下降してきた個体群であると考えられる。ギギについても大幅に採捕個体数が増しており、季節性の移動があることが示唆される。

添付資料

1. 作業写真

